

# 編集委員長を拜命して

編集委員長

柴田 幹雄 陸自75

戸塚編集委員長(当時)から編集委員に入らないか、新しい視点で見られるだけでいいと言われたのがきっかけで『偕行』編集に関わり始めてもう8年がたとうとしています。戸塚さんが亡くなられて3年余、縁あってこの度編集委員長を拜命しました。前任者の井上さん、編集委員の喜田さんからいろいろ話を聞くにつけ、思っていた以上に大変な仕事だと身が引き締まる思いです。

偕行社の目的を見ますと、各種の活動を通じて防衛基盤の強化拡充に寄与し、もってわが国の平和と福祉に関する国政の健全な運営の確保に資することとあります。そういうことであれば『偕行』は、偕行社の目的達成のための情報発信手段として極めて重要なツールであると考えます。また機関紙でもありますから、偕行社の構成員たる会員のための雑誌でもあります。主たる読者である会員の皆さんが興味をもって読んでくれる紙面づくりにも配慮しなければならぬと思います。従

前会員から元自会員まで年齢幅も人生経験も大きく異なる偕行社会員にとつて、『偕行』に何を求めるのか、ニーズを掘り起こし、少しでも充実した『偕行』を編集していきたいと思えます。

日本は世界有数の長寿国です。幹部自衛官が55歳で定年になり85歳まで健康で生活するとすれば30年間あります。幹部候補生学校を卒業して陸自を退官するまでの人生に近い時間があるわけです。第2の人生を豊かにするために、『偕行』にも何かお手伝いできることがあるのではとも思います。

と、大いに気合を入れていますが、まずは原稿集めがスタートです。会員の皆様、是非皆さんの思いを文章にしてご投稿ください。フェースブック、ツイッターも身近で、意見をネットにアップすることも容易な昨今ですが、毎月5000部以上の発行数を持ち、会員に読んでもらえる『偕行』にご意見や記録を残すことはまた別の意義もあるのではと思います。会員皆様の投稿をお待ちしています。

当面は前任の井上編集委員長の方針を踏襲し、「英霊に敬意を。日本に誇りを。」の具現を目指し『偕行』を編集します。編集について未経験者であります。専心努力します。宜しくご指導、ご鞭撻のほどお願いいたします。